

議員提出議案第20号

議員定数削減の議論に関する意見書

上記の議案を提出します。

令和7年12月10日

中野区議会議長 森 たかゆき 殿

提出者	中野区議会議員	浦野	さとみ
		武田	やよい
		広川	まさのり
		いさ	哲郎
		羽鳥	だいすけ

議員定数削減の議論に関する意見書

12月5日、自民党と日本維新の会は、小選挙区25議席、比例区20議席の衆議院議員定数を削減する法案を提出しました。1年以内に結論が出ない場合、定数を自動的に削減する規定も盛り込まれました。

衆議院では小選挙区制度によって52%が「死票」となっており、比例代表は多様な民意を反映する大切な役割を持っていますが、この議員定数削減により、国民の多様な意見が反映されなくなるという懸念が指摘されています。

そもそも、日本の国会議員定数は決して多くはなく、人口100万人当たり5.6人と、OECD（経済協力開発機構）加盟国38カ国中36番目の水準です。主要7カ国（G7）の中でも2番目に少なく、人口100万人当たり21.7人のイギリスと比べると4分の1程度です。

よって、中野区議会は国会及び政府に対し、衆議院の議員定数削減に関して、客観的事実に基づき、慎重な議論を行うことを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

年 月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

中野区議会議長名